

# 本の森 7月号



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 202 2022年7月1日 発行

## 今月の特集

### くらしの知恵

いよいよ夏本番です。すでに猛暑日も観測され、引き続き酷暑日が懸念されるこの夏。長引くコロナ禍やウクライナ戦争のあおりを受け、関東では「電力需給ひっ迫警報」が発令され、政府は家庭や企業に「節電要請」をしています。電力需給の状況に加え、食料品や生活用品の値上げなど私たちの暮らしには厳しい夏になりそうです。さまざまな情報などを活用して賢くこの夏を乗り切りたいものです。

今月の特集では、「この夏を賢く暮らすヒント」になる本を集めてみました。ぜひ参考になさってください。

### 『暮らし自分流』

しもじゅう あきこ  
下重 暁子著 大和書房 B914シ



元 NHK のアナウンサーで、現在は作家・評論活動に加えて「自分らしく生きる」などをテーマとした講演活動も行う著者。“きゃりーぱみゅぱみゅ”と“蜘蛛<sup>くも</sup>”が好きで、ジュエリーは好まない。「本当に好きなものを選んで自分の手元でどう愛するかを考えるのが暮らし」だと述べ「年齢は捨てなさい」と説く。

本書では、戦中戦後のモノのない時代を知る御年85歳の著者が、モノがあり余る現代を贅沢に思いながらも、そんな暮らしは疲れると言い切り、無用のものたちに邪魔されずにひっそりと暮らす喜びを綴っています。  
(河南)



マークデザイン  
加藤昌男

## 文学の 棚から



# 『ルコネサンス』

ありよし たまお  
有吉 玉青著 集英社 Fアリ

母と祖母を相次いで亡くした大学院生の珠絵は、母が離婚した父について話題にした唯一の思い出を小説に書きました。その矢先に父の消息を知り、記憶に残っていない父と20数年ぶりに再会することを決めます。その後お互いに父と娘と明かさないうまま何度か会って食事をし、珠絵は父に恋人の征太郎には言えない気持ちを抱くようになります。自らの結婚を決め、父の再婚相手と顔を合わせた後も、珠絵の気持ちは揺れ動きます。

著者は母である作家有吉佐和子と祖母について、それぞれエッセイを書きましたが、本書は自伝的な小説です。ルコネサンスとは、哲学者サルトルが用いた言葉で、「ふたたび認めること」「感謝すること」「告白すること」といった多様な意味を持っています。章のタイトルに使われたそれらの語には、珠絵の内面の変化が象徴されているようです。(栗田)

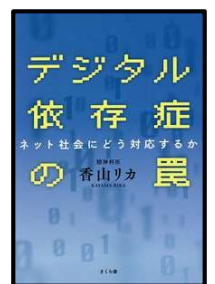
# 『デジタル依存症の罠 ネット社会にどう対応するか』

香山 リカ 著 さくら舎 007.3カ

ファミコン（家庭内ゲーム機）が発売されて39年。インターネットが日本に誕生して38年。スマートフォンが日本に登場して14年。巷には情報があふれ、コロナ禍で更に拍車がかかり、時代はSNSやデジタルとは切っても切れないネット社会へと突入した。「SNS・スマホ依存症」「テクノ不安症・依存症」など心的病が増加する昨今、著者は現代社会に精神科医として警鐘を鳴らす。本書では医師の観点からネット社会を分析し、『ネットやデジタルとの付き合いは“ほどほど”がよさそうだとわかっていながら、(中略)知らないうちにネットにはまり込み、そこから出られなくなる人たちや、現実の価値観が変わってしまう人が生まれてしまう。それがデジタル依存症の罠だ』と説いている。その罠から逃れるには……。

“使うのは私”。かつてブームとなり根付いた「断捨離」は、すでにネット社会やデジタル情報にも必要とされている。(酒井)

## 一般書の 棚から



## レファレンスの 棚から

### こんは レファレンス(調査依頼)がありました

#### 「篠山にいる妖怪について知りたい」

「多紀郷土史考 下巻」(B1/O3/オ)には、篠山七不思議として、「観音橋の夜泣榎」「土手裏のおちょぼ(少女)」「川<sup>かわ</sup>丁<sup>ちよう</sup>の鼻黒<sup>かや</sup>」「井の榎の木」「田代の前」「一本松の見越しの入道」「番所橋の酒買<sup>ばんしょぼし</sup>い小僧」という話が収められています。

このうち、おちょぼはのっぺらぼう、酒買<sup>ばんしょぼし</sup>い小僧は一つ目小僧ということですが、鼻黒<sup>かや</sup>についてはどんな妖怪なのか詳細は分かりません。ちなみに川<sup>かわ</sup>丁<sup>ちよう</sup>は「郷土事典」(B0/O4/キ)

などによると、東新町の割場橋<sup>わりばし</sup>から川端橋<sup>かわばたし</sup>の間と思われます。(西澤)

# Y onde M ite

よ ん で み て

『Y onde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『幸村を討て』  
今村 翔吾 著 Fイマ  
2022.03 出版



東西に袂<sup>たもと</sup>を分かれた真田家兄弟の真意は？幸村と信之の壮大な野望は実現するのか？敵か味方か、騙し騙され、心理作戦の駆け引きがページを進ませる。傑作である。

ペンネーム たかちゃん

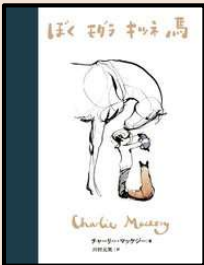
『<sup>うしゅう</sup>羽州<sup>とびぐみ</sup>ぼろ鳶組 1～13』  
今村 翔吾 著 BFイマ  
2017.03～出版



かつて、江戸随一と呼ばれた武家火消、今は貧乏浪人暮らし。「ぼろ鳶」と蔑（さげす）まれる火消集団の一発逆転ストーリー。読みだしたら止まらない。とにかくおもしろい。毎回一気に読んでしまう。

ペンネーム ichi

『ぼく モグラ キツネ 馬』  
チャーリー マッケジー 著 726.6 マ  
2021.03 出版



ひとつひとつの言葉が心に響く。ジワッと心が温くなる本。優しくなれる本。イラスト（絵）も素敵です！

ペンネーム YOU

『千代田区一番一号のラビリンス』  
森 達也 著 Fモリ  
2022.03 出版



天皇制議論に一石を投じる小説を書いたという著者。森氏から上皇后ご夫妻への熱烈なラブレターのように思えました。

ペンネーム 周五郎ヴァン

『捨てない生きかた』  
五木 寛之 著 914.6 イ  
2022.01 出版



“捨てる”行為が奨励される昨今。『愛着ある「ガラクタ」は人生の宝物』と著者は説いています。モノによって蘇る自分自身の物語があるのだと。

ペンネーム だるま萩

『傷痕のメッセージ』  
知念 実希人 著 494.78 イ  
2021.03 出版



医療と警察が絡んだミステリー。未解決事件に千早と紫織の医師コンビが挑む。結末まで展開が読めない面白さ。

おススメです。

ペンネーム Tシャツに口紅



# 映画上映会のお知らせ

入場無料  
申し込み不要

## 「酔拳」

1978年 香港 111分 日本語字幕

■監督 ユエン ウーピン 監督

■出演 ジャッキー チェン 他 出演

■日時 7月8日(金) 14:00~15:55  
7月9日(土) 15:00~16:55

■場所 中央図書館 視聴覚ホール

名門道場の息子、ウォンは悪友とつるんで自堕落な日々を送っていた。手を焼いた父は息子を酔拳の達人であるソウのもとに預ける。厳しい修業に音をあげ一度は逃げだすものの、偶然出会った殺し屋インに軽くあしらわれたウォンは、師の元でさらに修業に励む。そんな中、道場をめぐるトラブルから父が狙われる。彼を亡き者にするため、選ばれたのはインだった……。

## 図書館カレンダー



## 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
7月					1	2
3	4 休	5	6	7	8	9
10 図書館の日	11 休	12	13	14	15	16
17	18	19 休	20	21	22	23
24 31	25 休	26	27	28	29	30

### 【中央図書館】

- ★ 毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日  
全館：7/10(日) 終日
- ★ 「祥雲書の会作品展示」  
展示ホール：7/1(金)～7/12(火)
- ★ 「篠山書道協会作品展示会」  
展示ホール：7/15(金)～7/17(日)
- ★ 「映画上映会」  
視聴覚ホール：7/8(金)・9(土)
- ★ 「平和の本コーナー」  
展示ホール：7/29(金)～8/12(金)

※イベントは行わない場合があります。

## インフォメーション

### 『たなばた』

七夕の季節になりました。今年も恒例の笹飾りを準備しました。今回は『トライやるの生徒さんが書いてくださった素敵な絵』がお出迎えします。お子様はもちろん、大人の方もたくさんの願い事を綴って下さい。

期間：7月1日(金)～8月7日(日)

場所：中央図書館玄関横・レンガ前

※昨年は514枚の願い事が綴られ、短冊は翌9月に市内の神社に奉納されました。

### あなたの願いは何ですか？



「トライやる」丹南中学の生徒さんの作品